

伊賀市上野西部 公民館だより



第 164 号

平成 28 年 12 月 15 日

編 集 発 行: 上野西部公民館

所 在 地: 伊賀市上野福居町

上野西部地区の人口 世帯数 1,487 人口 3,321 人(内男 1,586・女 1,735) 職 28.11 末 現在

上野天神祭 ユネスコ無形文化遺産登録！！

上野天神祭のダンジリ行事を含む、国指定重要無形民俗文化財の全国 18 都府県 33 団体「山・鉦・屋台行事」が、12 月 1 日ユネスコ無形文化遺産に登録されました。



午前 2 時 02 分、第一報が保存会に入り、テレビにも字幕が流れました。

同 8 時 30 分だんじり会館に上野西部地区自治会長、祭町代表、市関係者、商工会議所、観光協会の関係者が報道・TV カメラの待ち構えるなか集まり、伊賀上野白鳳太鼓を皮切りに祝賀式が開催されました。上野文化美術保存会八尾会長、伊賀市長の祝辞に続き、久

寿玉割り、酒樽鏡割り、万歳三唱と登録を祝いました。ユネスコ登録を記念して 12 月 1 日から市役所本庁 2 階ロビーにて写真・パネル展。民俗資料館で天神祭歴史的資料展。12 月 18 日 10 時から上野西小学校 多目的ホールで天神祭シンポジウムを開催、ユネスコ登録に至る経緯などの天神祭講演会とお囃子演奏が行われます。

俳画サークル



おしらせ

12 月 18 日(日) 天神祭 ユネスコ登録記念式典

1 月 7 日(土) 伊賀市消防出初式ゆめドーム

1 月 8 日(日) 成人式崇広中校区 ハイトピア

1 月 28 日(土) 議会報告会 上野西部地区市民センター

参加議員: 近森正利、福岡正康、森正敏、中岡久徳

公民館だより 1 月 15 日号は都合により休刊致します。次号は 2 月 15 日です。

もちつき大会 健康福祉スポーツ部会 児童福祉会

12月4日(日)快晴の空の下、年末恒例のお餅つき大会が、上野西部地区市民センターで開催されました。子供90名を含む150名余りが参加しました。午前10時開会 八尾会長の挨拶 佐藤部会長からの説明の後、もちつき開始。石臼は大小2種類用意され、スタッフの見守る中、小さい子供たちは家族と一緒に掛け声に合わせて、『ぺったん・ぺったん』 高学年は堂々としたフォームで『よいしょ・よいしょ』と、杵を振り下ろします。つき上がった餅で、早速ぜんざいをいただき、きな粉餅・あん餅など、家族みんなで作りました。幼児から年配の方まで地域での親睦と世代間交流を計りました。



認知症予防教室 三重大学医学部



11月30日(水)三重大学医学部医学科二年生による、認知症予防教室が開催されました。去年より地域住民の健康維持や向上につながる地域基盤型実習の一環として行われていますが、今回は、認知症予防について企画され、講演と共に、予防法を楽しく学び、体験する、軽運動等も紹介されました。また脳年齢計での測定も行われ、50名程の参加者は、興味深げに参加しました。

人権パネル展開催 上野西部地区市民センター

人権パネル展が11月25日(金)～12月8日(木)市民センターロビーで開催されました。同和問題・子供の権利・LGBTのパネルが展示され公民館利用のサークルの人達が足を止めていました。12月4日～10日は「人権週間」で世界人権宣言の趣旨、重要性を訴え、人権尊重思想の普及を図るため、啓発活動を行っています。伊賀市では12月4日に「人権を考える市民の集い」が、伊賀市文化会館で開催されました。「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、考えてみましょう。



伊賀上野シティマラソン開催

11月27日(日)伊賀上野シティマラソンが開催されました



今年はいいにくの空模様となりましたが、3,500余りの参加者が、それぞれハーフ・5キロ・10キロ・3キロ(中学 小学生男子 小学生女子)・ファミリージョギングのコースで街中を駆け抜けました。伊賀フットボールくノ一の選手も雨の中

沿道の声援に手を振りながら力走しました。交通整理や、警備、スタッフの皆様、声援を送られた沿道の皆様ご苦労様でした。



ヒューマンフェスタ 崇広中学

11月12日(土)第8回崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタが開催されました



崇広中学校体育館ステージでは就学前児童による合唱を皮切りに、長田小、新居小、久米小、上野西小、崇広中の順に太鼓演奏、歌・踊りが披露され、満員の観客から盛んな拍手が送られました。昼の休憩は中庭の飲食ブースでは、西大手町なでしこ会の【かけうどん】をはじめ、ドリンク、フランクフルト、綿菓子、肉まん、クッキー等々に長い列が出来ました。午後は上野高校吹奏楽部の演奏

ホールでは展示体験ブースが並び午後2時まで学区内の多くの人で賑わいました。

伊賀市民文化祭

市民文化祭が10月29日から11月の日曜、祝日にかけてハイトピア伊賀、伊賀市文化会館で開催されました。絵画・写真・書・手工芸・生け花の美術作品はハイトピアで展示され、洋舞・ジャズダンス、邦楽、舞踊、日舞、大正琴、詩吟、民謡は伊賀



FGP ダンススクール



都山流尺八岱位山会

市文化会館でそれぞれ開催されました。上野西部地区市民センター利用のサークルの方々も出演されました。

煌星伊賀句会

大野利江俳評

漆黒の床を鏡に紅葉燃ゆ

安屋 宣子

京都実相院であろうか、床紅葉が有名。磨き上げられた漆黒の床に写る紅葉。炎を上げ燃えるように赤く実に不思議である。

「あれっこわ」つるり脱がさる衣被 炊 規夫

きぬかつぎ

伊賀弁をうまく使つて、上5中7で何事だろうと思わせて、下5で何とうまくまとめている。手練手管の一句。

かさところ足にからませ枯葉道 富田 まり

かさこそを分けて詠んだところに味と工夫がある。一歩づゝの音が強調され楽しんで枯葉を踏みゆく気持ちちが伝わる。

蓑虫の振子のゆれて時刻む 河口 一才亨

蓑虫に見下ろされている人間。時間に追われる様をゆれ乍ら見ている蓑虫。しかし人間も楽しいもんだよ。

とろ箱の太刀魚の銀生々し 天野 理江

「太刀魚の銀」で銀が強調され鋭い太刀が思われ「生々し」で太刀魚の一振りが跳ねるようである。

錦秋の水面剥ぎゆくジェット船 辻野 和彦

突然のジェット船に美しい水面が剥がされた。こう詠われると、錦秋の美がより鮮明に感じられる。

雪吊の新縄天を曳き絞る 田畑 寛一

北陸あたりの景、新縄という言葉が美しく際立つ。天を曳き絞るが一句をより大景にしている。

破芭蕉鋭き風の刃跡 やいば 谷口 恂

芭蕉の俳号となった木。ただ今破芭蕉、刃で切り裂かれたようだ。江戸の芭蕉庵から伊賀へ飛んできたのだろうか、風雨に耐えて。

高瀬川空荷で下る木の葉船 百上 進一

鴨川―伏見―淀川へ流れる運河の高瀬川を空荷とすると舟が船に、ない筈の荷が有るように感じる。芝居めいた奥行きのある句。

紅葉の境内統べる朱の鳥居 蔵本 稔恵

境内の中は紅葉ばかり。その紅の中の最も紅色が鳥居である。入り口の鳥居への畏敬の念を統べるという言葉で表している。

声を入れ千本杵で餅を搗く 中森美年子

千本杵だから大勢の人と人声を想う。杵の威勢の良い音が聞こえ、和気あいあいの声も入った餅が搗き上がる。

